



第十七號



官許
琵琶湖新聞

定價三錢五厘

明治六年第九月

西垣文庫
文庫10
7374
15



緒言

新墜 徳タルヤ大ナリ内知見ヲ闡キ外事業ヲ施シ
不知不識文明ノ域ニ進ミ開化ノ室ニ入り上下言路
ヲ通シ勸懲善惡ヲ判ス故ニ
官許シテ天下ニ公ニスル所以ナリ庶幾ハ四方ノ君
子上公裁ヨリ下僂言ニ至ルマテ續々記載シ吾社ニ
投入シ玉ハ~~...~~是今日ノ必務ニシテ開明ノ徳ニ
報ムル所以ナリト爾云

西澤文庫

新聞第十七號

官令

府縣官中正權典事ヲ廢シ官制左ノ通改定候條此旨布

告候事

明治六年八月四日 太政大臣三條實美

大属 八等 權大属 九等

中属 十等 權中属 十一等

少属以下従前之通

○ 府縣

府縣判任官以下月給別表ノ通改定候條此旨相達候事



明治六年八月四日 太政大臣三條實美

府縣判任官以下月給表

大属 八等

上等七十四 中等六十三円 下等五十七円

權大属 九等

上等五十四 中等四十七円 下等四十四円

中属 十等

上等四十四 中等三十七円 下等三十四円

權中属 十一等

上等三十四 下等二十八円

少属 十二等 權少属 十三等

上等廿五円 下等廿三円 上等二十円 下等十八円

史生 十四等 府掌縣掌

上等十五円 下等十三円 上等十二円 下等十一円

等外

一等十円 二等九円 三等八円 四等七円

五等六円 六等五円

○ 甲賀郡第八區野田村

木村淺藏

其方儀村内伊八妻中く卜姦通致シ其上右事件露顯致

シ同人儀親元へ被差返候ヨリ種々苦情申立候連土間へ突落シ疵為負候科ニ罪ノ重キ犯姦律ニ依リ徒一年申付候事

同郡同區同村久左衛門娘

桂 せく

其方儀木村伊八方へ縁付罷在候内木村淺藏ト姦通致シ候科犯姦律ニ依リ徒一年申付候事

明治六年七月 滋賀縣令松田道之代理

滋賀縣權參事篁手田安定

○涼風素月を迎へ偶文明開化を思ふニ各區學校ニ孝

經を令讀有ると聞き未ど漢籍の弃らば人倫の道卓然と轉ぜざる古一へ聖賢の格言易曰有天地而有萬物有萬物而有男女有男女而有夫婦父子君臣上下て治之ニ以禮義に蓋先王の道莫大於孝と其孝を學ぶ孝經ニ如らば夫孝ハ天地の經人道の本と云人の情愛の篤き親子ニ優ゆるを聖人父母ニ教ふる慈を以てし子は教ふるに孝を以てし故ふ孝ハ生民の本也とされば其孝を為さ小上天子より下庶人乃至るまで其流まら異ふ歸らるるを同くを故に經曰孝子ハ親ニ事ふる居り死蹟を忘ぬるハ親也と廟を立神主を設け父母存生

の如く形どり敬祀して以て追孝も其死小三年の喪より宅兆を占ひ又春秋の祭祀とあり易曰古葬者厚衣之以薪葬之中野後世聖人易之以棺槨と又葬喪令の條も賤不能同貴と又令義解假寧令其餘數律あねべん此生死孝の大なる敬慎を乞きたり然る小後世平民小有て輿の形を作り葬送するの素より葬喪の重しと虽ども僭上の甚どりととり就中小学校より専ら經史洋書等を以て教訓あまご各兎輩知識を開き禮誼を知ら斑白の我等の淺瀕を教へらる誠り令明の賜もれこれぞ

文明開化と云つるし而して其学校を設くる費用と募らんが為簡易の良法を施さんと混沌たるは区内の極小て有合ふ古管を以て埋葬する簡易にして宜しと是等の不知の人をして開化を踐違へる者と虽ども喪葬入費は省きて学校小擲ち教師の俸を給むと喪を疎しして其餘りを先生に附するは歎ずると小あつどや凡そ学校の事物人の龜鑑とせられ自ら明德を明うたりひるも賜賻送賻の礼とい轉倒に必らば死生の道は人倫の最大なれば海内一般の憲則もあつんと仰り既小七月の墓前小詣に之れ旧習といつども追吊の意

よして叶へりと云ふ人又盆會の種々旧弊絶倒するの
事あり所謂春秋の祭祀すも礼の間違より起るは是等
断然廢せんとて幽魂の迷へるあはれと虽ども却つて存
生愚昧の迷ひて文明を知らば開化の横道一管見の駈
を知らざるはねば各君子適宜の制則を立明教あらん
事は仰ぎし者ハ蒲生郡第十八区内草業生をり

○甲賀郡第十區々長村木周一郎報告

八月八日同十六日の兩際近來稀なる強雨劇雷して午
後四時より到り愕然山崩れ震動鳴電已に閭里危くも有
る小曾て我が信樂の庄ハ山郭ふして強雨ハ元峽

の谷より一時洪水し屢堤土を破り耕地は潰し殆んど
ど水害の憂苦絶えざる小當春來元山の溪澗へ砂流
留の御施行ありて此強雨流砂は害僅ら一村のよして
外村里無難あり是全く砂防は因て幾多の損毀を免
れしと区内の人民舉つて御仁恤の厚きを奉戴し歡び
量りて一翼く四方の人々協力奮發して砂防ノ修治
何ん事は為め小弘告を

○和州十津川郷士を昔時より勤 王は従事し殊に御
一新の際屢出兵身命を抛ち是が為め家産を失ふをも
顧らざる其勲勞容易うべとつども時勢小適導し曾

て祿米奉還四民同一の御合規を蒙り度旨出願あり此
の明治二己年御賞として現米五千石を下賜り引続
出兵ありとらへども旧藩々祿制と改められ候と郷
中の者安座傍觀の理あるまじくと眼前の飢饉を厭
ひ御政躰を恪導し且十津川の俵の粒粟不熟の地
て素より財用の道ふ乏しく近年賞賜は因て郷中開産
の基本とを土地を開き学校を取建稍々人情一致に
撥ふ至り願の如く御聞届五千石石代金見込の通五ヶ
年分當年一時は下賜り候へば浩沢ふ浴し生産の基礎
とも相成なく將勤 王の舉は應に失費九十七万九千

百兩ふ至り疲弊し因て其産を失し其缺亡を償ふに違
あしど斯く困却なくしりべ出願御採用の程願ひ奉
る旨則ち御參校の爲め先年仰渡され書寫并は出兵
付入費書取共差添此度大藏省へ上表成りし処右に付
書面賞典米奉還の俵の特別に詮議を以て願の通聞届
一時手當として金十萬九千六百二十五圓下賜り候
条請取方日限の俵出納察しり達とぐさ旨大藏省總裁
大隈重信より御指令をちりたりと

○予或日近鄰某生の宅へ立寄りしふ知己兩三輩より
て世態雜談移刻し及ぶ時ふ某生曰く頃日鎮臺とや

んと適宜の所々は置りせうくとの御布告ありしと
聞く是の如何なる事は司どりや文字のいり書く
やらんと尋ねるに其中は當賈人の舎弟某生なる當
時他姓を冒せる者ありたるが側ら輩は拙で答へて曰
氏々未だ辨知し玉いばと甲の曰未だ不辨なりとの曰
个程の事は知り玉いばとい恥辱なりとや 朝廷の御
代より其所以如何とされば畏くも 天皇御自身をさ
して朕とのまごばや故り其自らとさしものまご
朕の代りみて朕代と書と恭しく確乎として云ふ側
ら輩皆感動して曰く生い實小方今此人傑なりと賞

讃して止まざりたる其文音悲泣小耐ざらんや噫昔日
より遊惰は流き文を学ば唯小利は趨つて務めざり
の愆をり今や文明維新の際陋巷僻邑とつらども学事
小勉強あらばかざる 齟齬のゆるべくはと彼の愛情
は悖らば子弟たる者憤励あらば喜悦たらんと蒲生十
二區金屋邨窮民山本重太郎白に
○蒲生郡第十六區内武村某の贅壯女投書は
天性の子を間引と云事ありて未だ嫁せんとて孕し或
の不貞よして孕し或の離別の期小孕し是を流瀉し甚
どしとは安産の赤子は臍殺するは惡弊誠子聞は忍び

疾より之を禁止せらるると虽ども間弊習の去らざらん
 あれば諸君子明議を建言して仁權公令あらんことと
 仰ぎ希ふ○諸教導は有てい生理の難く尊きを懇説衆
 は聽くしめ或い学校より教戒し又富有小議して社倉
 を設け掛講を結ぶ等困民を扶助し尋て少女孀等此習
 弊を制せんとい必ば十五支小して嫁せしむは定則と
 し不幸にして継子は遠く町社よして貞を立々其厚縁
 より護貞をせしめ或々密小冷藥亂瀉調劑の者尚嚴刑
 小て懲しめらるる小如くじ○否して曰汝の論十五支
 にして必嫁せんは則といと縁は限りのなりや不具小

何れ其容貌美小して遠きあり又故あつて離別せらる
 あり之を護貞より流瀉隱藥の索まで届くをうらば悪
 と知て姪一罪を知て害し科と知て為し何ぞ顯彰せん
 やたと聞かありとも誰り訴る者何らん○曰法を令
 あり下として守らざらんば有べくうらば悪と知り罪と
 知り或い知らば弊害は泥むあり之は深く教を垂きよ
 と一とび嚴令下れば炎の水小消え冷い火は温まり疾
 い薬小愈ゆ石確しと虽ども火は焼くをち則ち法制
 として之を侵せば刑あり能く教戒の到底るるしめば
 何ぞ止ざらん可らんや願くは此の蒙婦として正理は浴

新編海防新報 第十卷

皇國の易基を奉し忍びざるの事莫らしめんと仰ぐのこ咳言の罪を免し給へ

沉告

當九月一日ヨリ開店種油并水油白入^{ニホイリ}等格別相^シ賣買イタシ且ツ種ノ儀モ直段能ク申請候向四方來客ニ玉ハン^ヲ希フ

滋賀郡荒川村

横山政之進



琵琶湖新聞第十七號終

伏テ四方ノ君子ニ敬白ス既ニ官許ヲ蒙リヨリ開キ新聞ヲ刊行シ遠^ニ近^ニ諸^ノ開^キ店^ノ披露^ス田園山林家邸舟車等ノ賣買貸借^ノ失物尋物^ノ觀^セ物^ノ集^會等^ノ披露^ス諸^ノ藝^ノ私^塾開^業等^ノ披露^ス諸^ノ産^物家^具食^品藥^劑等^ノ一切^ノ賣^買金^銀貸^借等^ノ外^ニ總^テ世^間ニ弘^メ人^ニ知^ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字價三錢ニテ引受出版致スベシ

總テ望ニヨツテ出版スル事件大略

諸會社ニテ取扱ノ品々出入數量○物價ノ高低○新規發明ノ器械

諸開店ノ披露○田園山林家邸舟車等ノ賣買貸借○失物尋物

觀^セ物^ノ集^會等^ノ披露^ス諸^ノ藝^ノ私^塾開^業等^ノ披露^ス諸^ノ産^物家^具食^品藥^劑等^ノ一切^ノ賣^買金^銀貸^借等^ノ外^ニ總^テ世^間ニ弘^メ人^ニ知^ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字價三錢ニテ引受出版致スベシ

右ノ外總テ世間ニ弘メ人ニ知ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字價三錢ニテ引受出版致スベシ

2500

琵琶湖新聞

本局

近江國大津松頭町

琵琶湖新聞會社

大津原通

原田 五郎助

大津京町 古川

伊助

彦根桶屋町

高田

平三

長濱

田邊

耕平

大津中町 澤

宗次郎

八幡町

木村

源造

取

八日市

福原左衛門

愛知川

中田

清次郎

日笠町

上林嘉右衛門次

守山

大道

榮藏

草津

山中平右衛門

水口驛

伏木八郎兵衛所

本堅田

北村

清十郎

入瀨

治兵衛

石部驛

小嶋金左衛門

海津

吉川

平三郎

東京芝大神宮前

山中兵衛

西京寺町三条

榊先宗

大阪本町通四丁目

書雜會

取次所